

初の議会報告会 町民と交流

～議会活性化の取組み～



11月19日(日)町役場305・306会議室にて

鳩山町議会報告会・懇談会が、11月19日に町役場会議室にて開催されました。27年4月に行われた「鳩山町議会議員選挙」において無投票だったことを受け、昨年度より「どうする!?鳩山町議会活性化特別協議会」を立ち上げ、無投票にしないための取組みや協議を重ねてきました。そのような中で、議会に興味を持っていただくために、また町民の皆さまの率直なご意見を聞く機会をとという事で、議員全員で準備を進めて参りました。

初めての試みでしたが、多くの町民の方の参加をいただき、活発な意見交換が行われました。

① 9月議会報告 (日坂・大賀議員)

最初に9月議会の報告を行いました。議会で行われている定例会の開催時期や、議会の役割について説明をし、9月議会で審議された議案等についての報告、28年度決算報告は、家計の収入・支出に例えたグラフで、町の決算内容を説明しました。

また、9月議会で議員から提出された議案3件について、内容と審議結果を報告しました。

そのほか、一般質問とは何か、定義を説明して各議員の一般質問の内容等の紹介をしました。

② 定数・報酬について (根岸・小川議員)

次に、議員の定数と報酬についての報告を行いました。

現在13人の定数に至るまでの推移を示し、近隣の市町村議会の報酬などを紹介しました。

議員定数の削減が求められる主な理由について、定数削減のメリット・デメリットについての考察を発表しました。

また、議員の役割として、①民意の反映、②行政の監視、③議案の議決責任、④調査・提案などを挙げ、町民の代表としての議員の仕事をお伝えしました。

③ 鳩山ニュータウン の再生創造事業 (小峰・石井徹議員)

3番目のテーマは、鳩山ニュータウンで町が取り組んでいる事業について報告をしました。

高齢化の進む鳩山ニュータウンの変遷に触れ、現在進めている再生・創造事業から、地域包括ケアセンター、コミュニティ・マルシェを取り上げました。7月にオープンした、これらの施設の概要を紹介し、鳩山町の少子高齢化対策のハード・ソフト面が出揃ったこと、今後の課題等についての考察を発表しました。



④ 北部地域活性化 事業について (森・中山議員)

町の北部に位置する、泉井地区の活性化事業として、町道第1号線の整備事業と泉井交流・体験エリアの整備などについて事業の概要や、計画期間について報告しました。上熊井地区の活性化事業からは、集落センターの建替え、農産物直売所の新設事業の概要について取り上げました。

(仮称) 鳩山新ごみ焼却施設の予定地を地図で示し、町営路線バス北部線の越生駅までの延伸について説明しました。



定数について考察した小川・根岸議員



議会報告をする大賀・日坂議員



小鷹議長と司会・石井計次議員

質疑応答

議員による報告の後、質疑応答を行いました。議員に立候補した際に懸念したことはどのような事か、という質問に全議員が答えました。本業との両立や、報酬面での不安があつた等の答えが出ていました。また、議員としてもつと真剣に町のために尽力せよという、叱咤激励をいただきました。

グループ懇談会

報告会終了後、参加者が5つのグループに分かれて懇談会を行いました。大きなテーマを議員定数と報酬についてとしたうえで、議会や町政に対する自由なご意見を伺いました。各テーブルに2名の議員がつき、進行役と書記を務めました。

定数・報酬についてのご意見

- ・ 定数を減らせば、選挙になると思う。
- ・ 兼業を認めているのだから、報酬は減らしても民意尊重の観点から、定数は減らすべきではない。
- ・ 現状の13名で良いのではないか。議員を減らして与党ばかりでも困る。
- ・ 地元で議員がいてほしいが、現実的には難しい。
- ・ 議員不要論もあるのだから、財政の面からも緊迫感を持って考えるべき。
- ・ 兼業は難しい。家族が反対する。



課題を協議する森・中山議員のグループ



意見を交わす小峰・石井徹議員のグループ



5つのグループに分かれて懇談会

懇談会での その他のご意見

- ・ 議会の魅力を発信すべき。広報・広聴を使つてアピールを。
- ・ 昔は大字から候補者を立てて、地元の意向を通したものが、時代は変わり、若い世代は行政に対して不満がないし、興味もなくなっている。
- ・ 地域で懇談会の開催を。社協のふれあい会食会の参加年齢の拡大を。
- ・ ニュータウン地域の体育祭の振興委員は自治会、新自治会だけではなく、丁目ごとの協力をお願いしたい。
- ・ 北部地域の活性化は、20年後、30年後を見据えて取り組んでほしい。
- ・ 農地(耕作放棄地)を負の遺産にせず、利活用できないか。
- ・ 議員が自分で町の課題を探す努力を。
- ・ 以前、議会だよりの町民アンケートで、知人が写真付きで掲載されていて、議会を身近に感じた。

当日のアンケートから (抜粋)

〈年代〉

40代・・・11人
50代・・・3人
60代・・・13人
70代・・・8人
80代・・・2人

〈お住まいの地域〉

ニユータウン・・・5人
今宿地区・・・17人
亀井地区・・・11人

〈興味深かったテーマ〉

9月議会報告・・・2人
議員定数・報酬・・・18人
NT再生事業・・・7人
北部活性化事業・・・12人
よかった・・・26人
よくない・・・0人
その他・・・4人

〈今後、議会に期待することは (複数回答可)〉

議会報告会・・・8人
町民アンケート・・・9人
定数・報酬の協議9人
町民との交流・・・20人
〈今後、議会報告会を開催したら、参加しますか〉
是非参加する・・・9人
内容次第で参加・・・14人
参加しない・・・1人

アンケートより (自由意見)

・議員は遠い存在だったが、グループで懇談して身近に感じられた。
・ニユータウンの活性化に期待したい。
・もつといろんな方に周知する努力を。
・町の危機的で困難な問題をとり上げるべき。
・知らない話が聞けた。
・決算の説明を家計簿に置き換えて、わかりやすかった。
・町民の声を反映させたのであれば、このような交流会を頻りに開催し受け身ではなく議会側からもっと発信すべき。

議会報告会・懇談会を終えて

初めての取組みでしたが、ご参加いただいた皆様の活発なご意見を頂き、とても有意義な懇談会となりました。貴重なご意見を参考にしながら、議員一同、議会活性化に取り組んで参ります。ありがとうございました。

徳島県の町村議長と鳩山町議員が議会の活性化について白熱意見交換

11月21日に徳島県町村議会議長会の33人が、鳩山町議会の活性化の取組みについて、視察研修に来訪されました。

「どうする!?鳩山町議会 議会活性化特別協議会」の取り組みを説明し、質疑応答を行いました。無投票に対する徳島県の町村議会の取組みなどもご紹介いただき、議会活性化についての様々な意見交換を行いました。



歓迎のあいさつをする小鷹議長

近隣の町議会議員と交流・情報交換

11月17日に越生町とときがわ町議会の合同研修に、鳩山町議会として初めて参加しました。

飯能信用金庫の専務理事、関谷和昌氏を講師としてお招きし、3町の地域基盤分析をもとに、将来の税収や所得を予測し、人口の推移から、3町それぞれが抱える課題を示していたいただきました。

また、懇談会では3町の議員間で情報交換を行いました。



データで読み解くそれぞれの町の課題

はとバス再建から得た教訓
これからの自治体のあり方

平成29年度埼玉県町村議会議員研修会が、10月19日にフレサよしみで開催されました。講師は、はとバスの元社長、宮端清次氏です。倒産寸前の会社再建のため改革を断行し、業績をV字回復させた秘話をお聞きし、自治体のあり方を考えさせられる研修でした。

住民に読まれ、議会活動が伝わる議会だよりを

平成29年度議会広報研究会が、埼玉県民健康センターで開催されました。議会だより編集委員で参加し、埼玉県「コミュニケーションセンター」の芳野政明理事長の研修を受けました。「どんなに素晴らしい議会活動も、住民が知らなければ、評価はなきに等しい」ということを胸に刻みました。